



### 新屋小学校の取り組み

## 各学年の取り組みをご紹介します

新型コロナウイルス感染症対策をしながらも、各学年が「すすんで学ぶ子」「思いやりのある子」「元氣な子」の学校教育目標の実現に向け、日々の勉強や運動などを頑張っています。

#### 新屋っ子の仲間入り

四月 待ちに待った小学校生活のスタート。

五月 「大きなあれ」と気持ちを込めて、あさがおの種まき。

六月 「先生インタビュー」では、タブレットを使い、初めてのグループ活動。

七月 「あさがおの観察」では、上手に記録が取れました。

八月 初めての？の楽しい夏休み。

九月 「運動会」練習から一生懸命頑張りました。

楽しいことは続きます。



入学式の様子

#### 新しい経験の中で

二年生は、一学期からたくさん新しいことを経験してきました。生活科では、多くの野菜を育てることを通して、直に自然に触れ、生命や自然の大切さを学びました。また二学期に入り、新しい計算「かけ算」の学習に取り組み、日常との結びつきを感じながら、九九を一生懸命に覚えていきます。



とれたよ！わたしたちの野菜！

#### 待ちに待った水泳学習

二学期になり、待ちに待った水泳学習が始まりました。甘楽町では、学校のプールは使わず、富岡市のスイミングスクールで行います。天気や気温に左右されず、いつでも快適に水泳学習に取り組むことができます。

一生懸命、そして楽しみながら泳いでいます。



待ちに待った水泳学習

#### かっこよく踊れた雷舞



全力で踊った「雷舞」！

先日行われた運動会で、四年生は日頃の練習の成果を発揮することができました。特に、表現運動の「雷舞」という踊りでは、力強い勇姿を披露できました。名前のとおり、雷のように、すばやく、キレよく、迫力のある踊りになるよう、常に「かっこいい踊り」を意識しながら、鳴子の響きや掛け声にも気を付けて、練習を重ねてきました。

運動会の経験をもとに、さらにパワーアップした四年生の今後がとも楽しみみです。

## 提言

### 話を聴くこと

「家庭のコミュニケーションが大切」とよく言われます。うれしいときはもちろん、落ち込んでいるときや困ったときに人に話を聞いてもらうことにはどんな効果があるのでしょうか。

**教育相談室**

◆問い合わせ・相談申込  
学校教育係  
または  
言語指導教室

誰もが持っていると思います。これは、カタルシス効果とあって、気持ちのモヤモヤを口に出すことでそのモヤモヤがすっきりして安心した気持ちになることをいいます。そして、相手の人に話を受け止めてもらい自分の気持ちを分かってもらえたと感じる

と、安心することはもちろん、自分の気持ちを客観的に見ることができるようになります。話をすることで少しずつ自分の気持ちが整理されて、じっくり考えることができるということがあります。

そんなやり取りをすることで「この人は自分のことを分かってくれる」という信頼関係を築くこともできます。

大人は毎日忙しく過ごしています。そんな中にちょっとした子どもと同じものに目を向ける時間を作ってみるのも良いのかもしれません。お子さんと何気ない対話をするのを大切にしたいですね。

### すっごく大変なんだなあ。

五年生の総合的な学習では、JA青年部の皆様にご協力いただきながら、米作りを行っています。

「こんなに苦労して作られていたんだ。」たくさんの方が見つかったよ。「昔の人はもつと…」「残さないように食べたいな。」

普段当たり前前に食べているお米。いざ自分たちで取り組んでみると、さまざまなきずを得ることができました。



力を合わせて脱穀へ



おいしいお米がとれるかな

### 五年生と一緒に新屋小ソーラン

六年生は、五年生に踊りの振りを引き継ぎました。数週間の練習を経た本番数日前には、五年生の踊りの上達ぶりや気合いの入った姿や心構えに圧倒されました。

「自分たち六年生も最上級生として、もっともつとできることがあるはず！」本気になって、みんなで運動会を大成させたい！という気持ちが溢れてきました。これからは高学年で切磋琢磨しながら、力を合わせて、さらにより良い学校をつくっていきます。



5年生と一緒に

新屋小学校  
校長 市川光早  
児童 247人



新屋小学校ホームページ